

主な調査結果

1. 回答企業のプロフィール
2. 重点テーマ:「デジタル化」の進展と成果
 - ・ビジネスのデジタル化
組織／システム／基盤
3. IT予算・投資マネジメントとの関係
 - ・ITトレンド
 - ・IT予算・投資マネジメント
4. 基幹システム・マスターデータとの関係
 - ・企業を支える基幹系システム
 - ・マスターデータ
5. システム開発・IT基盤との関係
 - ・システム開発
 - ・IT基盤
6. グローバルを含む情報セキュリティとの関係
 - ・グローバル戦略
 - ・情報セキュリティ
7. IT人材との関係
 - ・IT人材

【IT人材】

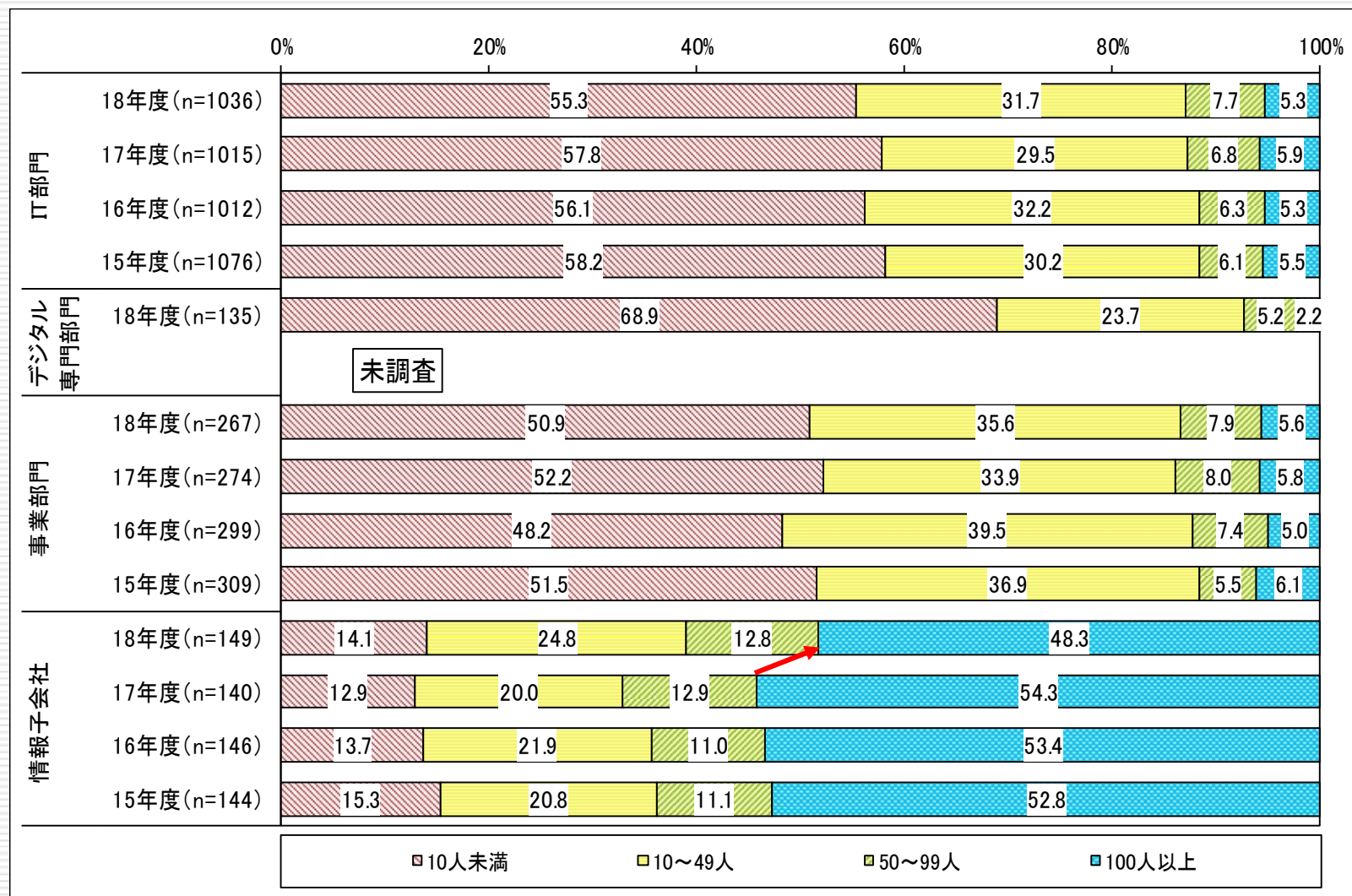
本年度調査のポイント

1. IT要員の増加傾向拡大、過去10年で最高に
2. 40代、50代以上中心の企業が半数超
3. 7～8割がシニア人材の活用計画を策定せず
4. IT部門の魅力度は上がるも、依然として魅力無しが7割以上

重点テーマ(デジタル変革力)との関係性・ポイント

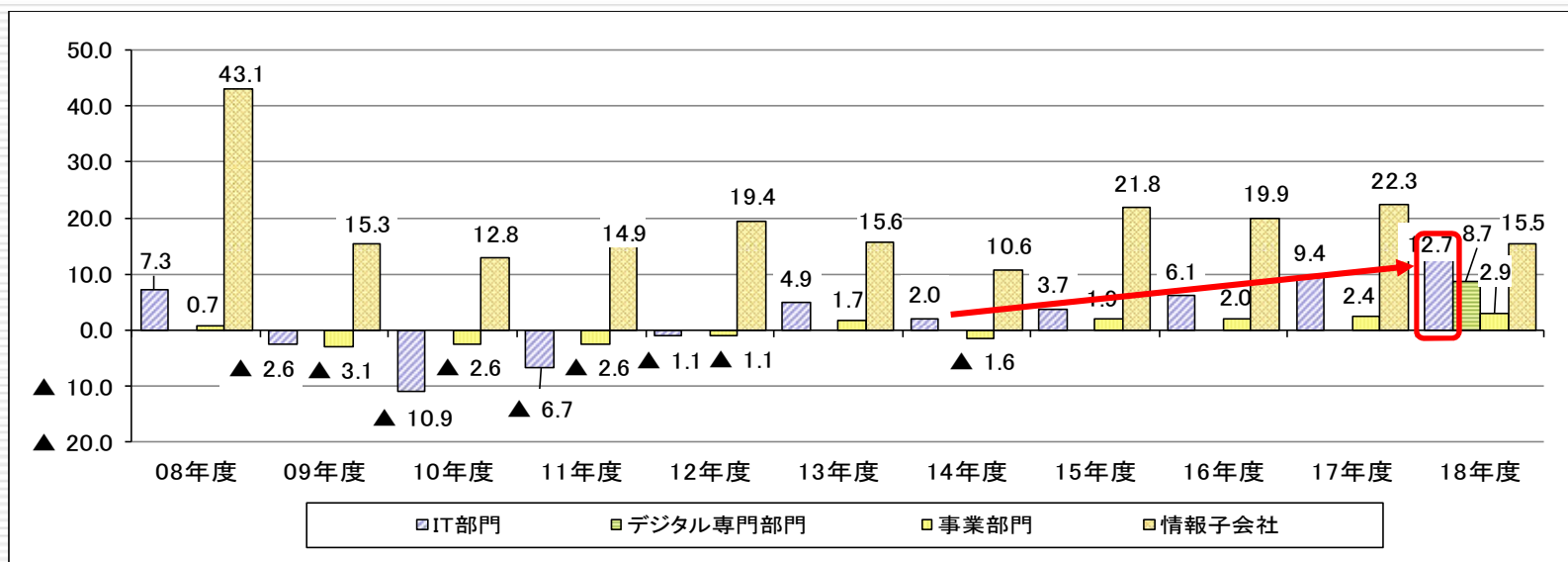
1. デジタル専門組織を保有している企業は全体の12.2%
2. デジタル化導入済み企業では、IT要員数が増加傾向にあり、新卒・中途採用にも積極的
3. デジタル化推進においても情報セキュリティ人材は重要視
4. デジタル化へのIT部門の関与・役割整理が重要

＜年度別 部門別 IT要員数＞ IT要員数に大きな変化は見られないが、情報子会社で100人以上が6ポイント低下した。初めて聞いたデジタル専門部門は135社が回答したが、約7割が10人未満。

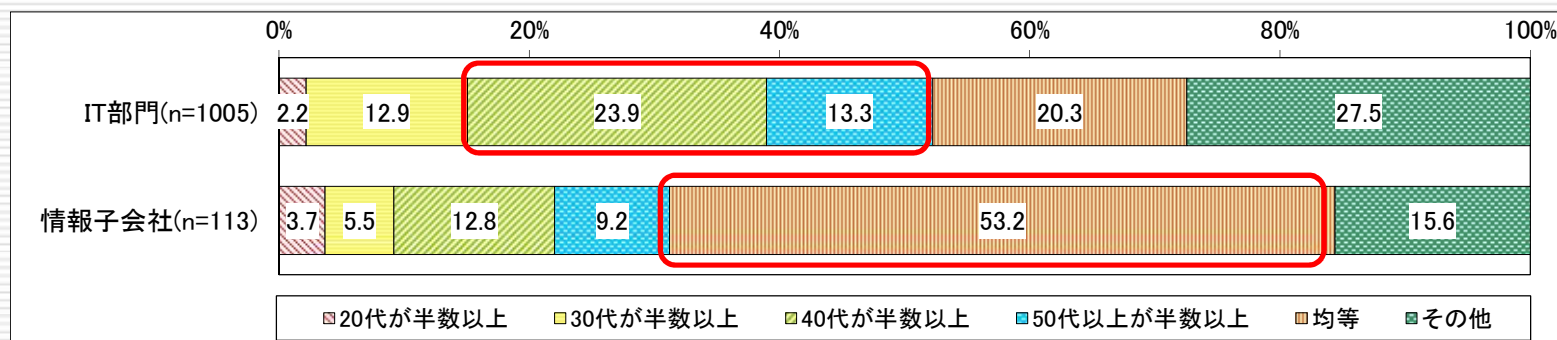


＜IT要員数の推移と年齢構成＞ IT要員数の増加傾向は続いており、DI値が過去10年で最高になった。年齢構成は、IT部門は40代、50代以上が半数以上が約4割。情報子会社はバランスが良く、均等が約5割。

IT要員数の過10年のDI値推移

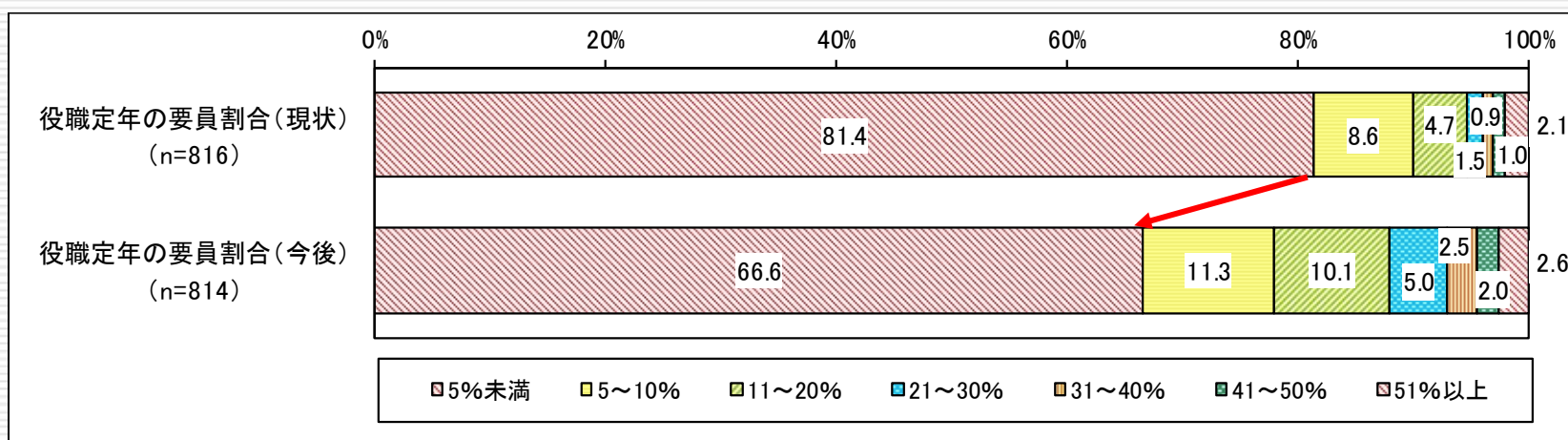


IT要員の年齢構成パターン

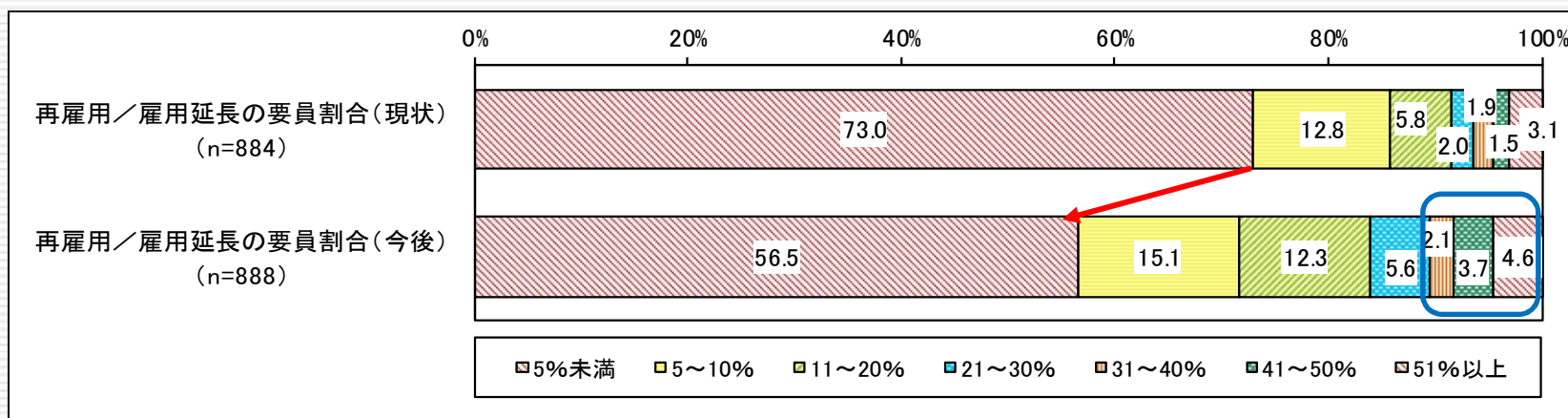


＜役職定年、再雇用となる要員の割合＞役職定年となる要員の割合は5%以上が現状で18.6%、今後(5年後)は33.4%に増加。再雇用となる要員の割合は5%以上が現状で27%、今後は43.5%に増加、特に30%以上が10.4%で高齢化が大きく進む。

役職定年となる要員割合

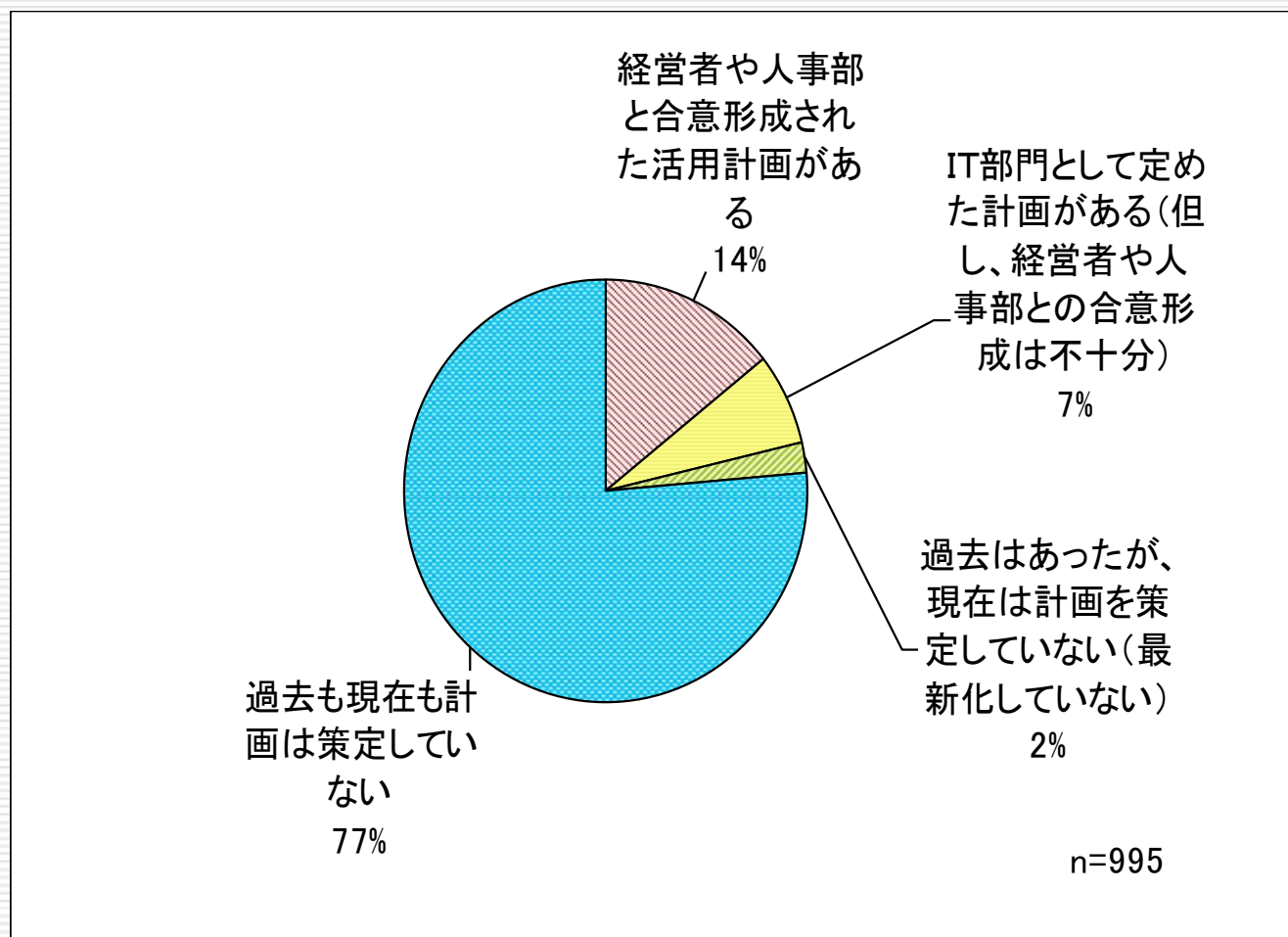


再雇用となる要員の割合の現状と今後



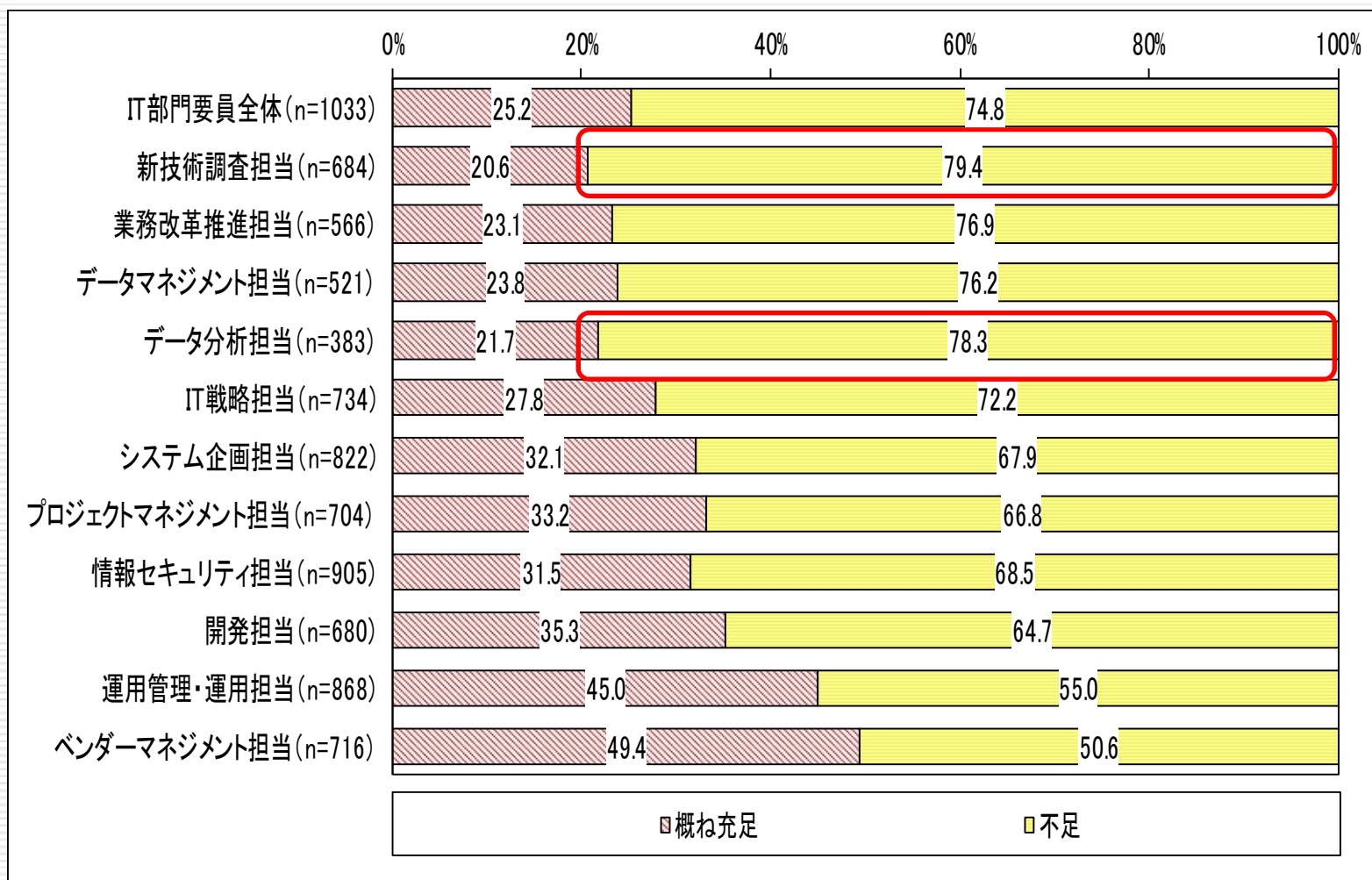
<シニア活用計画の立案状況>

高齢化が進むと予測しているにもかかわらず、活用計画があるのは21%に留まっている。



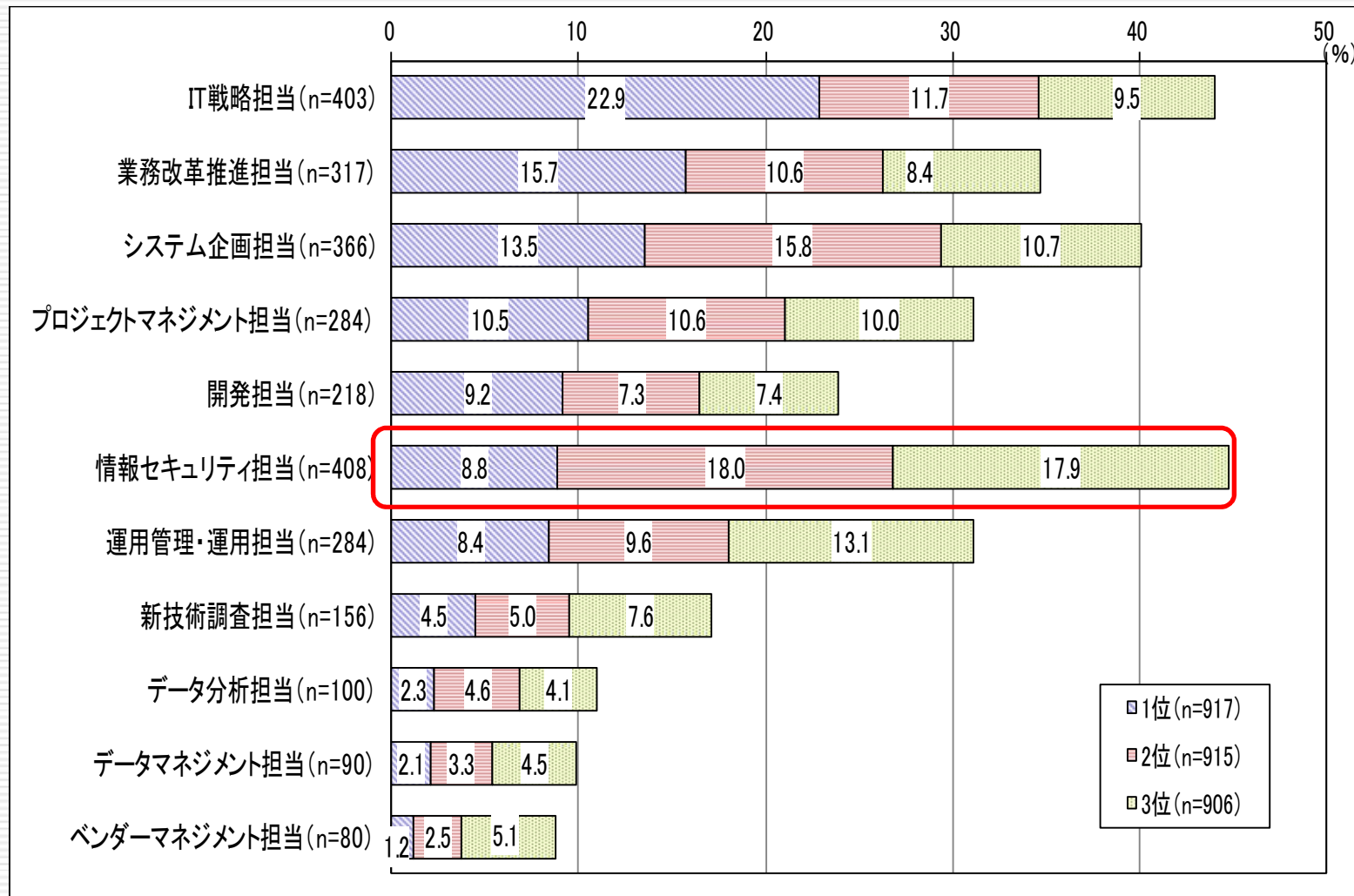
<人材タイプ別 IT部門要員の人数の充足状況>

IT部門全体では約3/4の企業が不足と回答。特に、デジタル化で必要となる新技術担当、データ分析担当の不足が約8割と大きい。



<重要視する人材タイプ(上位3位)>

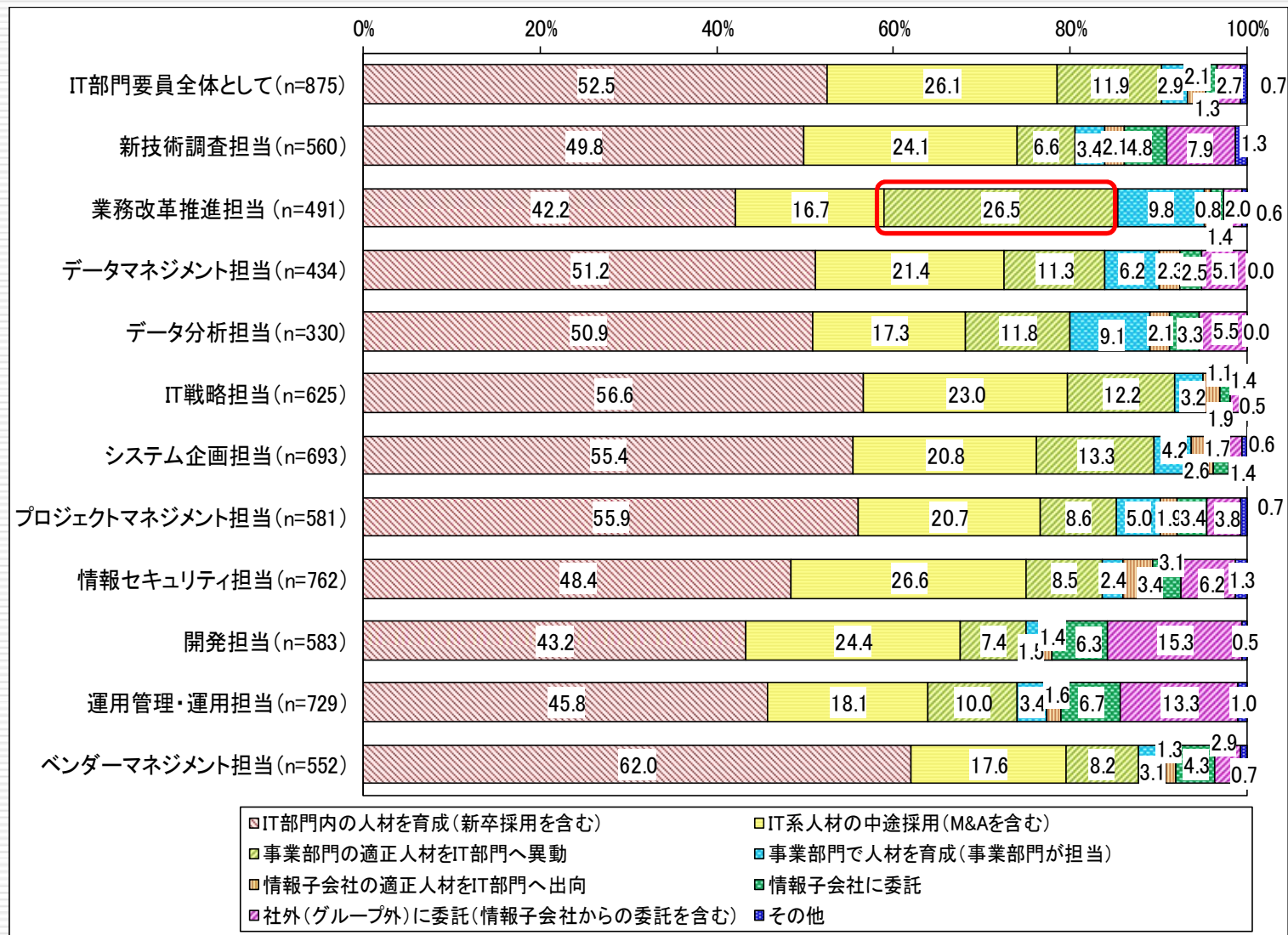
重視する人材の1位はIT戦略担当、業務改革推進担当、システム企画担当の順であるが、1～3位までの合計では情報セキュリティ担当が最も多い。



<人材タイプ別 人材ソース>

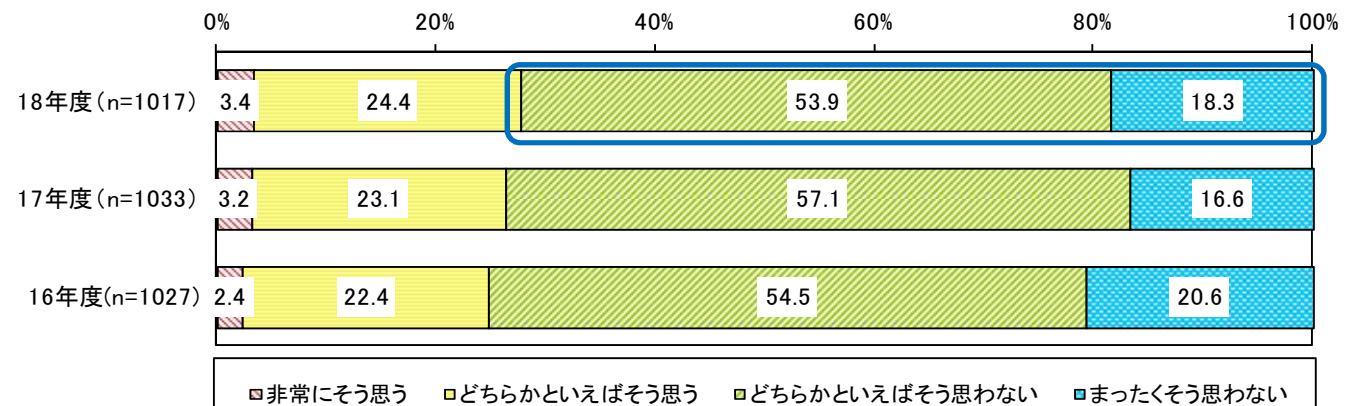
全体ではIT部門内で育成が約5割、次いで中途採用が26.1%。

業務改革推進担当は約1/4が事業部からローテーションを考えている。

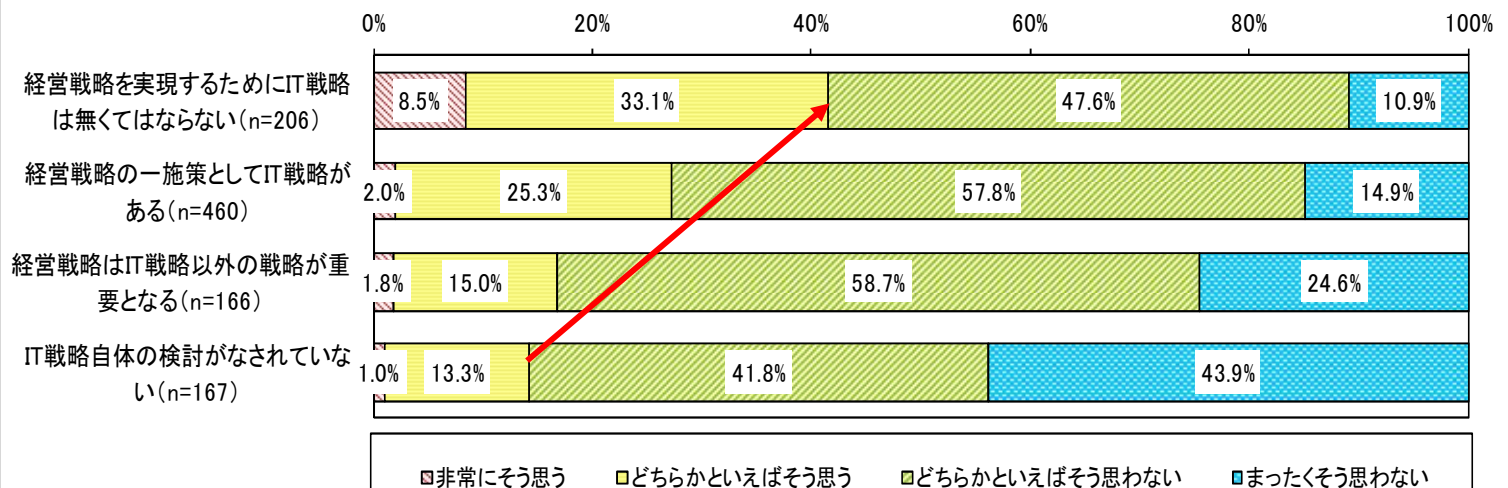


＜年度別 IT部門が魅力ある部門として認識されているか＞
 魅力あるとの回答が若干増えているが、依然として7割以上が魅力がないと回答している。経営とITの関係が高いほど魅力度が高くなっている。

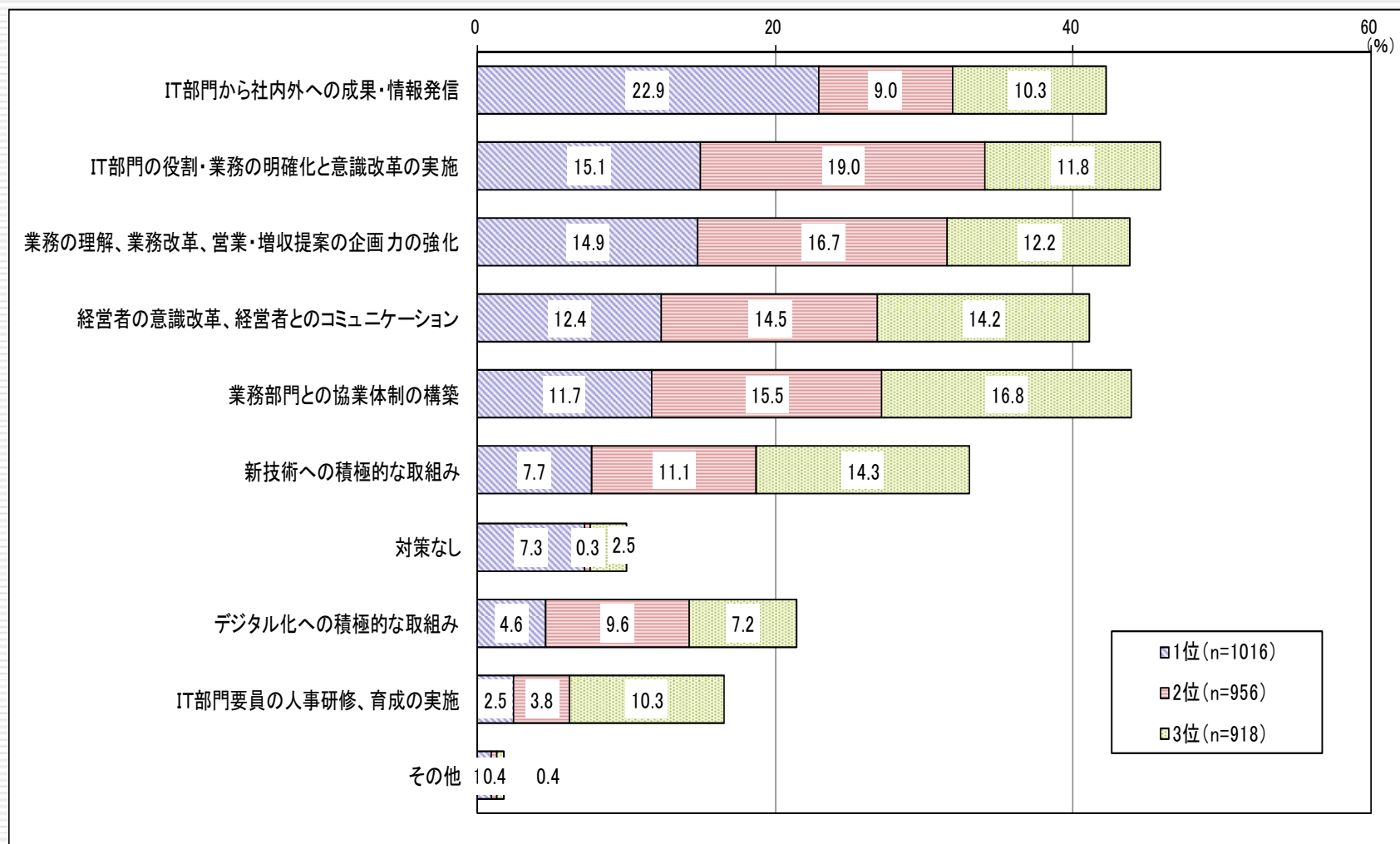
年度別



経営戦略とIT戦略の関係別



＜魅力あるIT部門にするための取り組み＞ 1位では「IT部門から社内外への成果・情報発信」が22.9%と高く、3位までの合計では「IT部門の役割・業務の明確化と意識改革の実施」が高い。次いで「業務部門との協業体制構築」となっている。



【総括と提言】

最後に、重点テーマである
「IT部門に問われるデジタル変革力」
を切り口に18年度調査の総括と提言を行います。

【総括と提言】

IT部門に問われる「デジタル変革力」

デジタル化の取組みは進展する一方、**成果は道半で試行錯誤が続いている**

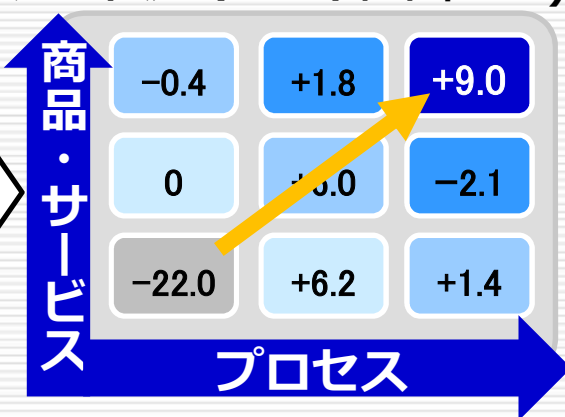
成功要因

- ・ 経営層のリーダーシップ
- ・ 部門横断プロジェクト設置
- ・ スモールスタートで成功体験

課題

- ・ アイデア創出が進まない
- ・ リソース不足
- ・ 投資判断/効果見極め

進展状況（対前年ポイント増減）



ITトレンド伸び率上位

- 1位：RPA ← 効果注視
- 2位：IaaS, PaaS
- 3位：AI
- 4位：SaaS
- 5位：IoT
- 6位：ビッグデータ

IT予算／投資

- ・ 過去10年最高のDI値
- ・ 既存システム刷新が中心

鍵①：バリューアップ予算への配分

基幹刷新／マスター整備

- ・ プロセスのデジタル化の前提
- ・ マスターの概念/範囲の拡大

鍵②：デジタル化への試金石

システム開発／IT基盤

- ・ スピード/コスト重視の傾向
- ・ クラウド活用の恩恵に余地

鍵③：上流重視/開発の柔軟性

情報セキュリティ

- ・ 増加傾向続くが増加率横ばい
- ・ 危機意識の低下に対し警鐘

鍵④：データ保護はデジタル化の大前提

IT人材とスキル

- ・ ベテラン層/次世代層の最適連携
 - 既存システム対応（引継ぎ含む）
 - 新技術理解とデジタル化牽引

鍵⑤：IT部門の役割整理と
試される企業の「総合力」
技術力、要件定義力、リスク感応力

ご清聴ありがとうございました

本調査に関するお問い合わせ

(一社)日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)

担当:宮下、渡邊

TEL:03-3249-4101

E-mail:itdoukou@juas.or.jp

参考:

「企業IT動向調査報告書」の読み方

■分厚い報告書のどこから読めばよいのか、どういう視点で読み解けばよいのか、戸惑ってしまう方もいるかもしれません。そこで、ご参考までに、本報告書の価値を引き出すために（読み解くために）の持つべき視点の一例をご紹介します

① 自社・自部門の立ち位置は、同業他社や異業種に比べてどうか

② あえて他社・他部門の視点で読み解き、視野を広げてみる

④ 経済のグローバル化に対して本当に向き合えているだろうか

③ テクノロジーの変化に対応できているかどうか

⑤ イノベーションを生み出せる土壌は整っているか

これからのシステム部門、そしてIT人材に求められることは、広範囲かつ多角的な視点で状況を把握し、様々なシナリオを想定した上で、進むべき方向性を見極めることです。本報告書が少しでも貢献できれば幸いです。

中堅塾シリーズ



ITと愛があるマネジメント
「アイマネ」

リーダーになったら！ マネージャーになるなら！

「ファクトベースで学ぶ

ITマネジメント力アップ」集中コース

- ◆ ITマネジメントにおいて重要な項目を
「ユーザー1000社のIT動向(企業IT動向調査)」というファクトをベースに
「ユーザー自らが語る事例」
「簡単なワークショップ（ラップアップ）」でひと通り学ぶコースです。
- ◆ IT部門の次世代リーダーの方に最適のコースです。

◆実施カリキュラム

第1回 ITマネジメント	第2回 IT投資	第3回 IT推進組織と IT人材	第4回 システム運用・ IT基盤	第5回 システム構築～ 経営戦略の実現	フォローアップ セキュリティ動向 総合ラップアップ
-----------------	-------------	------------------------	------------------------	---------------------------	---------------------------------

◆ 2019年度 開催日

第1回：2019年 9月25日（水）13：00-18：00※
第2回：2019年10月24日（木）13：00-18：00
第3回：2019年11月21日（木）13：00-18：00
第4回：2019年12月12日（木）13：00-18：00
第5回：2020年 1月16日（木）13：00-18：00
フォローアップ：2019年 2月20日（水）13:00-17:30※
（※第1回、フォローアップは終了後意見交換会あり）

第7期
2019年9月スタート！
お申込み受付中！



◆お申込 <https://juasseminar.jp/seminars/view/4119154>

■ 新刊のご案内

企業IT動向調査報告書 2019 ユーザー企業のIT投資・活用の最新動向(2018年度調査)

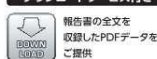
企業IT動向調査 報告書 2019

ユーザー企業のIT投資・活用の最新動向
(2018年度調査)

■ 最新動向

- ・ITトレンド
- ・IT予算・投資マネジメント
- ・ビジネスのデジタル化
- ・企業を支える基幹系システム・マスターデータ
- ・IT基盤
- ・システム開発
- ・IT人材
- ・グローバルIT戦略
- ・情報セキュリティ
- ・総括と提言

■ ダウンロードサービス付き



報告書の全文を
収録したPDFデータ
をご提供

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

2019年4月26日に、企業IT動向調査2019(2018年度実施)の調査結果を日経BP社より発刊いたします。

調査25年目の2018年度調査も約1000社の回答結果から分析！
IT投資・IT活用の最新トレンドを読み解くための参考となれば幸いです。

■ 2019年度の重点テーマ:

IT部門に問われる「デジタル変革力」

■ 報告書から読み取れるITトレンド:

ITトレンド／IT予算・投資マネジメント／ビジネスのデジタル化／
企業を支える基幹系システム・マスターデータ／IT基盤／
システム開発／IT人材／グローバルIT戦略／情報セキュリティ

【購入者限定！】報告書の全文を収録した
PDFダウンロードサービス付き

A4判 348ページ(予定) 定価 14,200 円+ 税

- 発行日:2019年4月26日
- 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 著
- 発行:日経BP社 ●発売:日経BP マーケティング
- ISBN: 978-4-296-10238-9

ご案内はこちらから

<https://juas.or.jp/library/books/>